

スワンソン商事の成り立ち・社名の由来

スワンソン商事株式会社という社名は、前身であるスワンソン貿易株式会社の「商事部」から事業を引き継いだことに由来しています。

スワンソン貿易は、スワンソン商事の初代表取締役・小林恒三と、恒三の義理の

兄であるスウェーデン人のグスタフ・スワンソンが中心となって1950年頃に設立。グスタフが戦後にGHQの通訳を務めていた縁もあり、アメリカの企業を主な得意先としていました。

1971年のニクソン・ショックを発端と

して輸出業に向かい風が吹き始めると、スワンソン貿易は三社に分割。そのうちのひとつが、輸入と国内販売の事業を引き継いだスワンソン商事です。



左：スワンソン貿易のカタログ。60年代のもの。掲載されているサラダボウルの形は、今の商品とほぼ変わらない 中央：同じくスワンソン貿易の60年代のカタログ。ペーパーミルとソルトミルを掲載 右：GHQが設置されていた建物。現在の横浜税関

沿革

- 1974年 12月 初代表取締役・小林恒三(元スワンソン貿易株式会社代表取締役)がスワンソン貿易株式会社の商権を引き継ぎ、輸入及び国内販売業務を主目的として設立。資本金二百万円
- 1976年 5月 資本金四百万円に増資
- 1980年 4月 かもめ町配送センター設置
- 1988年 3月 バンコクの現地代理店に社員出向
- 1991年 10月 資本金一千万円に増資
- 1993年 9月 川崎溝ノ口に物流センター設置
- 1998年 4月 横浜市本牧埠頭内 日本運輸内に物流センター移転
- 2002年 7月 ダイドウトランスプラネットに物流センターを移転
- 2005年 2月 株式会社アベに物流センターを移転
- 2008年 7月 バンコク代理店を変更
- 2008年 9月 化粧品製造業許可取得
- 2008年 10月 化粧品製造販売業許可取得
- 2014年 9月 GINGER Fashion Co., Ltd. とライセンス生産契約を締結

会社概要

- 会社名 スワンソン商事株式会社
- 所在地 〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 31 番地
- 業務内容 木製品、陶磁器、ガラス食器、家具、繊維製品、食卓用品、化粧品、その他日用品の輸出入卸し並びに販売及び仲介

